

科 目 名	理学療法評価学Ⅱ（各論）【理学】					開 講 キャンパス	神 埼	
担 当 者	大田尾 浩							
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）	
授業の概要 及びねらい	理学療法における評価・測定、治療の一連の流れを理解し、基本的な検査・測定方法の意義や手技について学び習得することを目的とする。また、リハビリテーションの観点から障害評価を理解し、患者の問題を考える指標となる障害モデルについて学ぶ。							
授 業 の 到 達 目 標	1) 表在感覚の検査法を理解し実施できる。 2) 深部感覚の検査法を理解し実施できる。 3) 複合感覚の検査法を理解し実施できる。 4) 深部反射の検査法を理解し実施できる。 5) 病的反射の検査法を理解し実施できる。 6) 筋緊張の検査法を理解し実施できる。 7) 運動機能の検査法を理解し実施できる。 8) 総合的身体バランスの検査法を理解し実施できる。 9) 簡便な歩行能力の検査法を理解し実施できる。 10) 日常生活活動に対する代表的な尺度を理解し実施できる。							
学 習 方 法	講義、ディスカッション、グループ実習							
テキスト及び参考書等	松沢正著『理学療法評価学』金原出版							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験	◎	○	○	○	70			
小テスト等								
宿題・授業外レポート			○		30			
授業態度								
受講者の発表								
授業への参加度								
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	感覚検査①							
第 2 週	感覚検査②							
第 3 週	反射検査①							
第 4 週	反射検査②							
第 5 週	生理機能検査①							
第 6 週	生理機能検査②							
第 7 週	精神心理機能検査①							
第 8 週	精神心理機能検査②							
第 9 週	神経学的検査①							
第 10 週	神経学的検査②							
第 11 週	運動機能検査①							
第 12 週	運動機能検査②							
第 13 週	運動機能検査③							
第 14 週	日常生活動作テスト①							
第 15 週	日常生活動作テスト②							
第 16 週	まとめ							
備 考	1. 学生同士で実習を行います。動きやすい服装で受講して下さい。 2. 出席時間数が開講時間数の3分の2に満たない者は、定期試験の受験を認めない（単位を認定しない）。 3. 講義終了時にレポート課題を提示する。次回の講義前々日まで提出すること（提出期限厳守）。							